

## 2022 年度 小委員会活動成果報告

(2023 年 2 月 1 日作成)

小委員会名	鋼構造耐火設計小委員会		主 査 名：尾崎文宣 就任年月：2021 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (鋼構造運営委員会)		委員長名：五十田博 (主 査 名：五十嵐規矩夫)
設 置 期 間	2019 年 4 月 ～ 2023 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>鋼構造耐火設計指針(第 3 版、2017 年刊行)で残された諸課題を解決するとともに、最新の研究成果を組み込むことで現指針の各種評価法の見直し・改善を図り指針の守備範囲拡大を目指す。</p> <p>初年度：現指針の課題抽出・整理。最新研究成果の調査。 2 年度：現指針の各種評価・設計法の改善、および新評価法の検討。 3 年度：新評価法の具体的検討、次期改定指針の骨子確定。 4 年度：改定箇所を中心とした講習会の企画、次期指針への反映。</p>		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無		
	主査：尾崎文宣(名古屋大学) 幹事：新谷祐介(竹中工務店)、鈴木淳一(建築研究所) 委員：井戸和彦(清水建設)、岡崎智仁(竹中工務店)、木村慧(日本製鉄)、河野守(東京理科大学)、高木次郎(東京都立大学)、西野智研(京都大学)、馬場重彰(大成建設)、原田和典(京都大学)、平島岳夫(千葉大学)、村上行夫(JFE スチール)、四元順也(日本建築総合試験所)、若松高志(日本防災研究所)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2022年度予算	180,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス： —	

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	1. 鋼構造耐火設計シンポジウム(2023)「鋼構造耐火設計指針の次期改定に向けた新提案とその将来像」『同名資料』(PDF) 参加者数 93 名
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 現行指針の改善点と改定指針の目次案などを鋭意検討。防火委員会傘下小委員会との連携も強化し、火災外力側の最新研究成果の反映も可能となった。本年度はシンポジウムを開催し、指針改訂に向けた研究成果の取り纏めと成果発表、および委員会外部からの意見聴取を行った。当初の目的は到達した。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 小委員会の委員数が上限の15となったため委員補充ができない状況であった。守備範囲が火災性状から構造耐力評価まで広範囲に及ぶことから、次年度の小委員会再設置時に2つのWGを設置することで委員(改定指針の執筆)拡充図り、委員会活動をさらに活性化する。